

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

日本チェーンドラッグストア協会 (JACDS) の発表によると、2018年のドラッグストア総売上高は7兆2,744億円。店舗数は2万228店と増加の一途をたどっています。企業数はこの10年で7割に減りましたが、店舗数は3割増えており、M&Aの拡大をうかがい知ることができます。先日も調剤薬局の社長さんから「やっぱり調剤よりも、ドラッグの方が強いのですかね……」と、今後の事業展開についての悩みを聞きました。

一方、最近、医療費限界論 (医療費の膨張が限界でこれ以上は国がもたなくなる) と財政タブー視論 (医療や命の問題を財政で語るべきではない) の議論をよく聞くようになりました。現実論と理想論でしょうか。私はどちらの主張も分かりますが、医療費で国が潰れるのは本末転倒であり、違うような気がします。だからといって「増え続ける医療費をどうするのか」と聞かれると、返答に窮します。

先日、知り合いのおばあちゃんが膝の手術をしましたが、術後に「リハビリをやりたくない」といわれて周りが困っているそうです。そもそもこの手術の必要性が不透明で、本人の希望ではなかったそうです。リハビリを嫌がるのはそういった理由があるのでしょうか。

お金は限りある資源です。その資源を有効利用するには無駄を省き、優先順位があっても良いと思いました。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子